

外国人の人権

人権講座⑧
市民意識調査から

小郡市には留学や技能実習などの目的で、ネパールやフィリピン、中国など18か国、470人(平成26年8月末現在)の外国人が暮らしています。外国人住民の数は年々増えてきており、まちの中を歩いていても、以前より外国の方の姿を見かけることが多くなってきました。

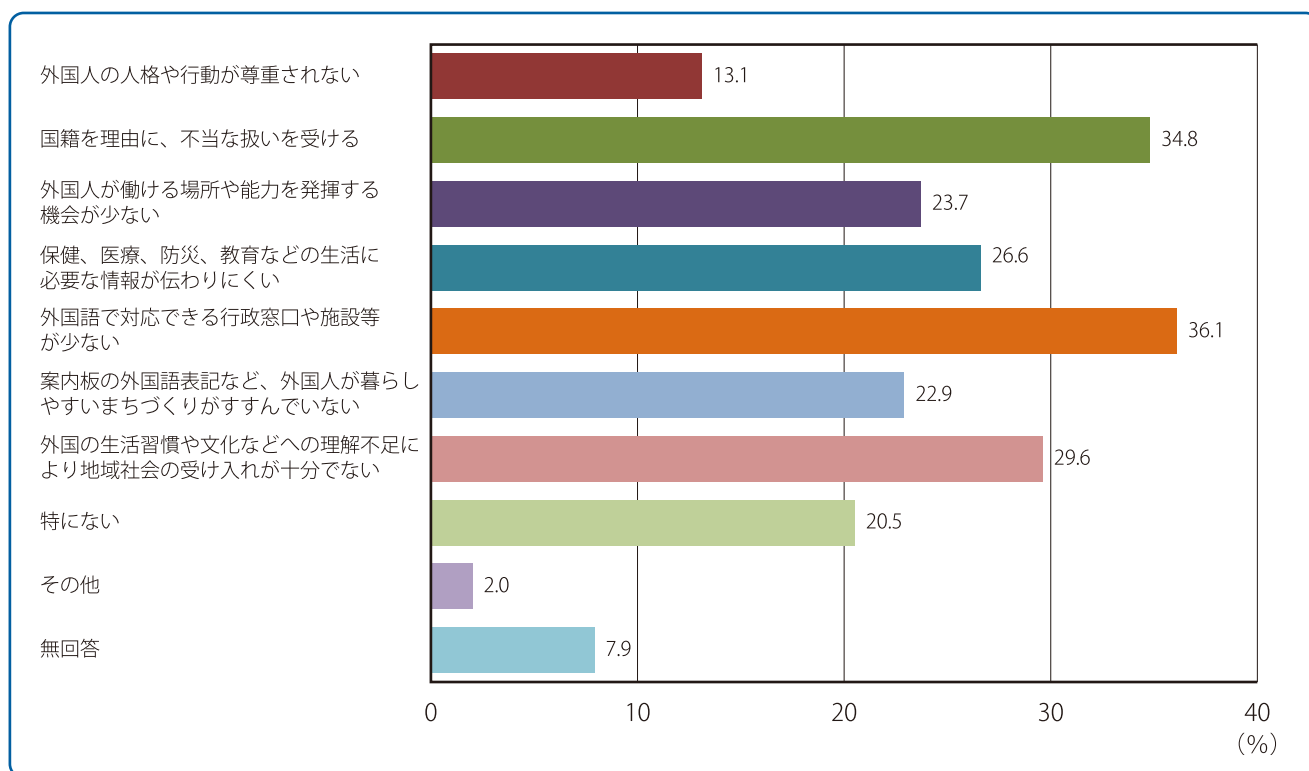
このような中、小郡市民は外国人の人権に関する問題をどのように捉えているのでしょうか。平成24年11月に実施した「小郡市人権・同和問題市民意識調査」の回答結果から見てみます。

「あなたが、外国人の人権に関することで、問題があると思われるのはどのようなことですか」の問い(複数回答)に対して、まとめたのが次のグラフです。



郵便局のATMの英語表記

Q 外国人の人権で問題があると思うこと(複数回答)



避難所の4か国語表記

小郡市で外国人が生活していくうえで、外国語で対応できる施設や店舗、行政の窓口はまだまだ少ないと感じている人が多いことが分かります。

言葉であったり、文字表記であったり「生活をするうえでの壁」になることが多く見られます。この問題について、公共交通機関などではかなり改善・取組みが進められています。私たちの周りでも、このような配慮を進めていくことが大切ではないでしょうか。

多文化共生のまちづくりをめざして～外国人と日本人の共生～

右ページの設定で、多くの人が「国籍を理由に不当な扱いを受ける」ことも問題としているように、言語、文化、習慣の違いから外国人に対するさまざまな人権問題が発生しています。私たちが外国人と知りあい、つながっていれば、このような問題は発生しにくくなるのではないのでしょうか。地域コミュニティの中に積極的に入ってもらえるよう、地域活動への参加呼びかけなどの取り組みを進めてみてはどうでしょうか。

誰もが明るく過ごしたいという願いを持っています。国際社会の一員として互いの文化的な違いを認め合い、共につながって生きていくことが望まれています。「多文化」や「多様性」を受け入れ、尊重し合える「多文化共生のまちづくり」をめざしましょう。



異なる言語や文化を持つ私たちが互いに安心・安全に暮らしていくためには、日常生活に必要な情報を得ることやコミュニケーションにより支え合える関係を持つことが重要です。

小郡市が進める多文化共生のまちづくりの取り組みから3つを紹介します。

国際理解講座(世界の家庭料理教室&講演会)

外国文化に対する理解を深めるため、年に3回、日本で暮らしている外国人を講師に迎え、出身国の家庭料理体験教室、文化や習慣などを紹介する講演会を開催しています。



外国人のための日本語教室

毎週火曜日(19時～20時30分)、市役所北別館2階で開催しています。

3期(4～7月、9～12月、1～3月)あり、受講料(資料代)は、1期あたり1,000円です。

※期の途中からでも受講できます



暮らしの便利帳(多文化共生ガイドブック)

外国人の住民が地域で安心・安全に暮らせるよう、暮らしに役立つ情報をまとめた「暮らしの便利帳(多文化共生ガイドブック)」を配布しています。暮らしの便利帳は、3か国語(英語、韓国語、中国語)で作成しており、それぞれ見開きで左ページに外国語、右ページに日本語で同じ内容を記載しています。日本人が外国人に説明する時にも利用できます。



多文化共生の第一歩として、あいさつなど身近なコミュニケーションから始めてみませんか。互いの文化や生活習慣を尊重し合える笑顔のあるまちづくりを進めていきましょう。



●問合せ先 人権・同和教育課 ☎72-2111内線532
企画課男女共同参画推進係 ☎72-2111内線222